

### 出題の意図

「感情労働」については、ごく一部の研究者らによって、最近、注目され始めたテーマであり、学部の労働法の授業でも、いわゆるパワハラ（職場内における有形・無形の暴力）には言及がなされても、「感情労働」を正面から取り上げている講義はほとんどなく、特に、業務中の労働者が第三者から暴力を受けるという問題をいかに考えるか、という問題に関しては、ほとんどの受験生には、必ずしも十分には知られていないテーマとあって差し支えないであろう。

問 1 は受験生の読解力を見ることを目的としている。問 2 は、著者自身が課題と考えている事柄に関する出題である。受験生が、社会における変化や自らの知見を踏まえ、また、想像力を働かせて、自己の見解をいかに論理的に叙述できるかを見ようとするものである。